



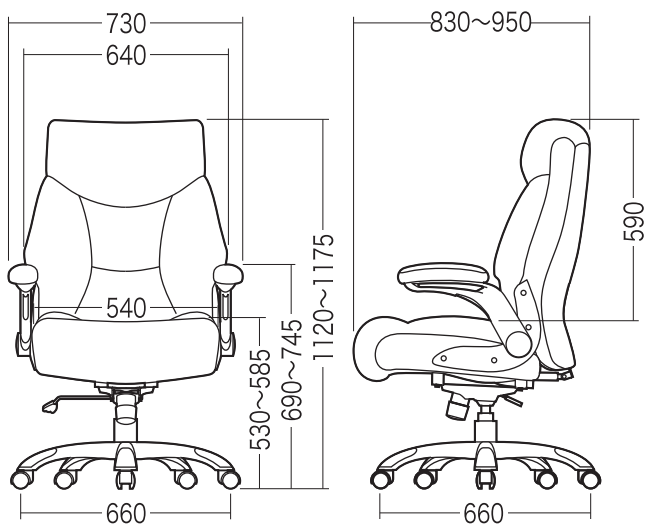
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
本製品は組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

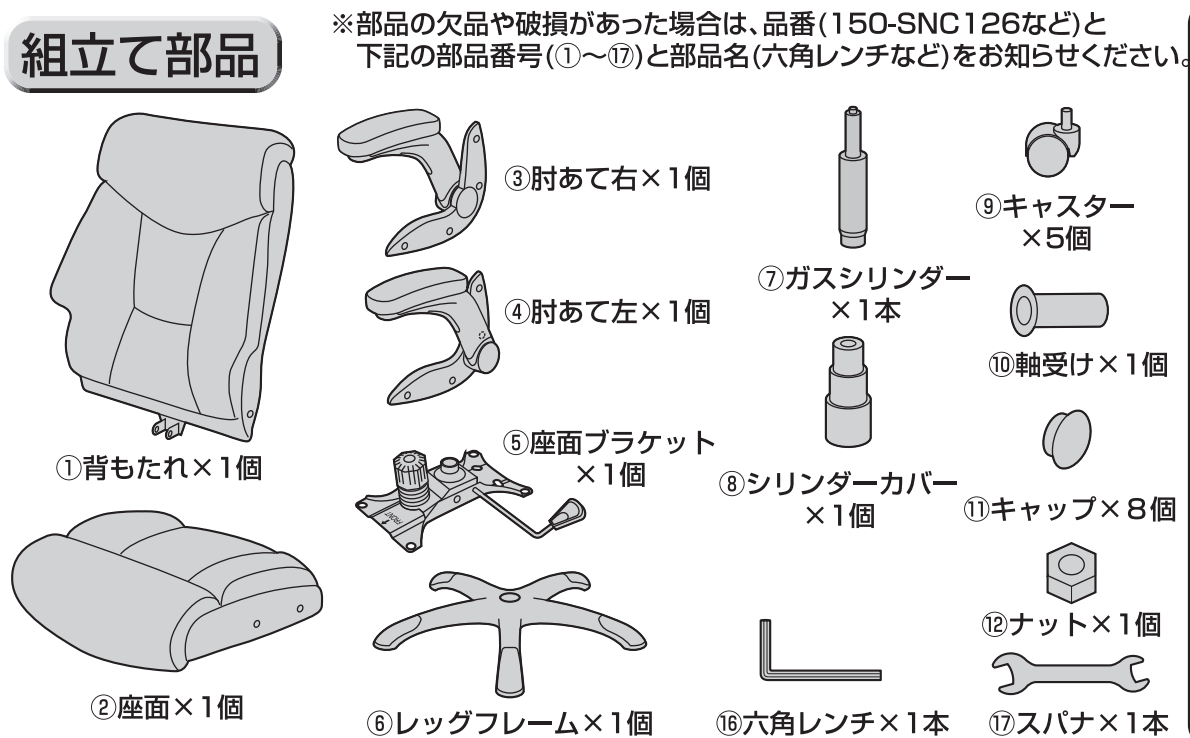
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

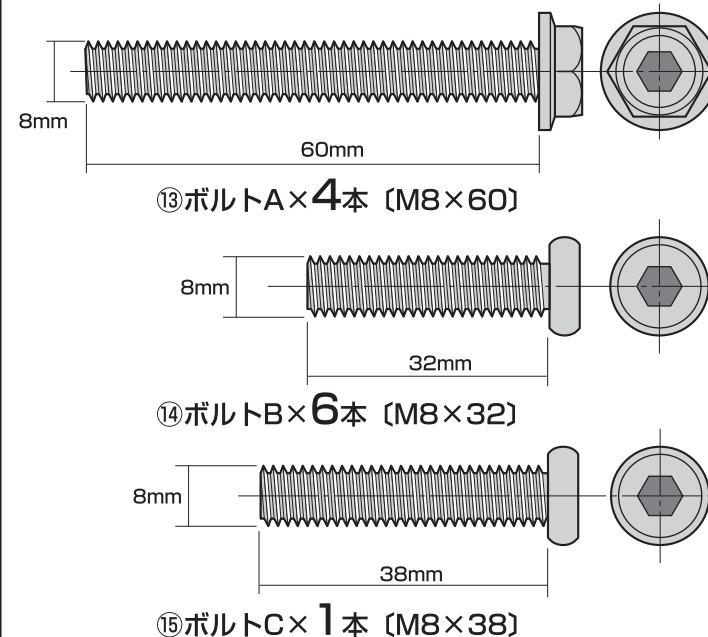
完成図



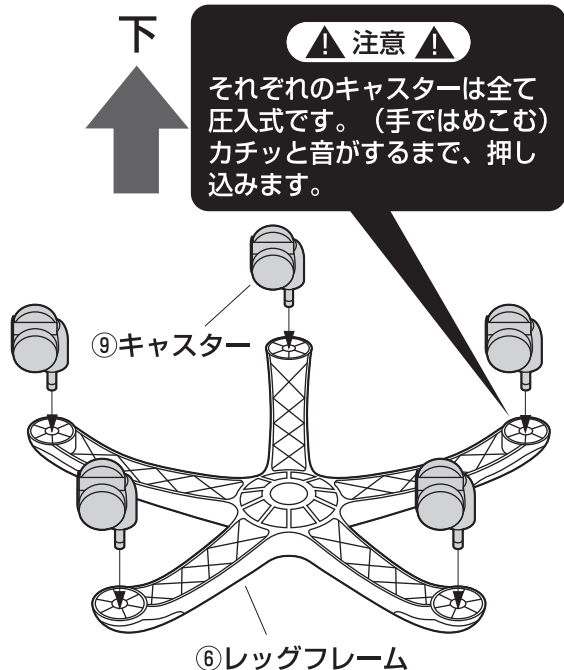
組立て部品



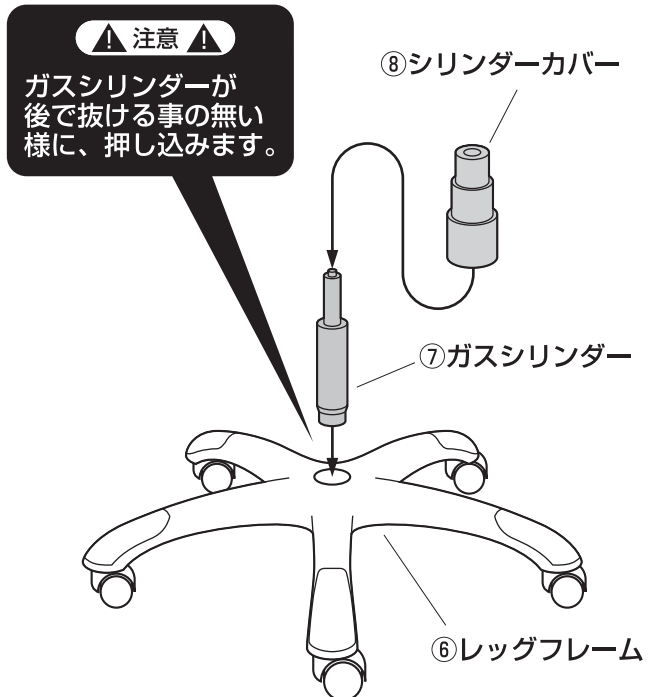
使用ボルト



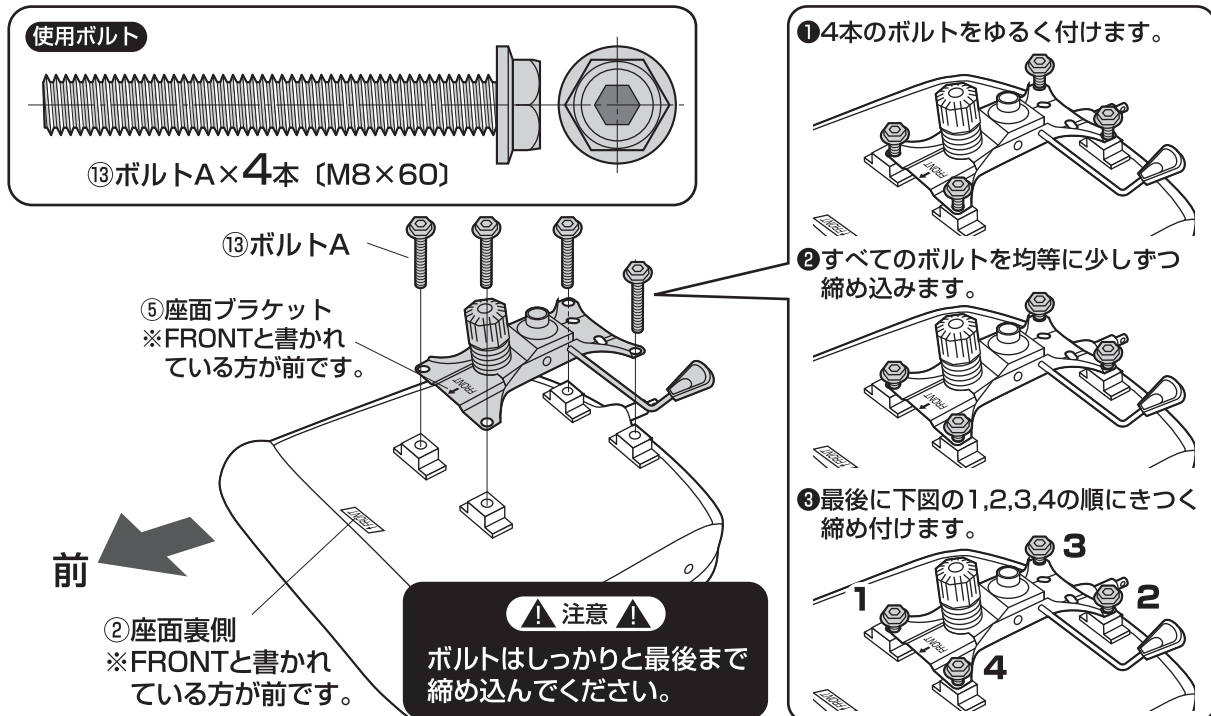
1 レッグフレームをひっくり返し、
キャスターを取付けます。



2 レッグフレームにガスシリンダーと
シリンダーカバーを取付けます。



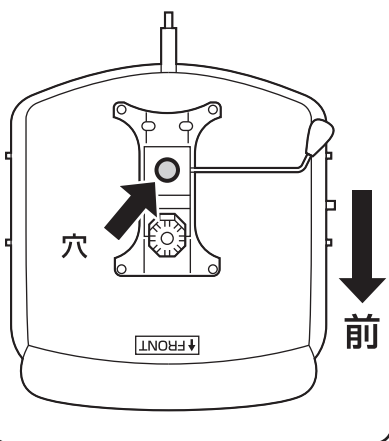
3 座面裏側に座面ブラケットを取付けます。



4 ガスシリンダーに座面ブラケットを差し込みます。

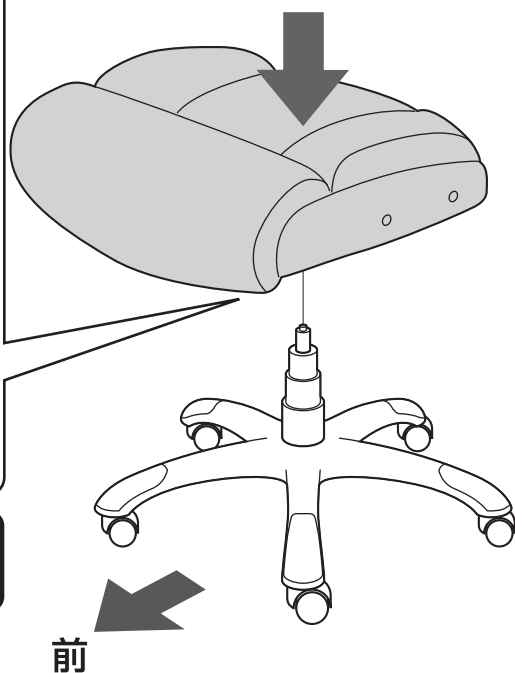
下から見た図

※下図の穴に差し込みます。



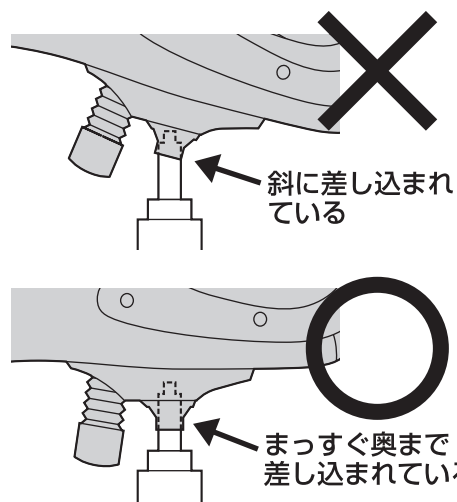
座面に座り、体重をかけて押し込みます。

②座面



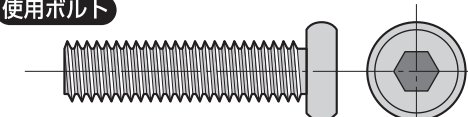
⚠注意⚠

座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面ブラケットが斜めに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



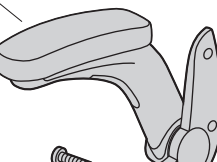
5 座面に肘あてを取付けます。

使用ボルト



③肘あて右

14ボルトB

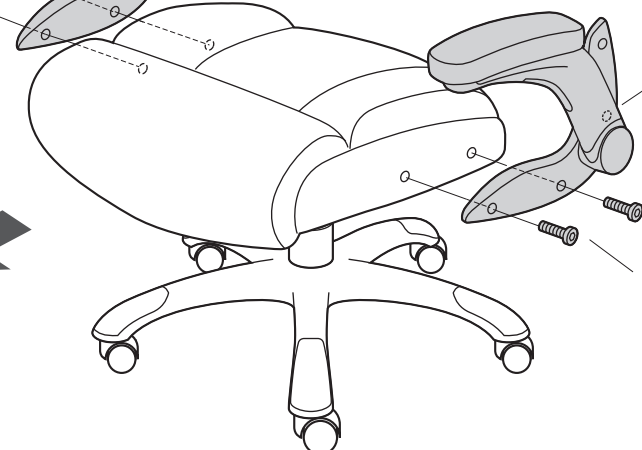


前



④肘あて左

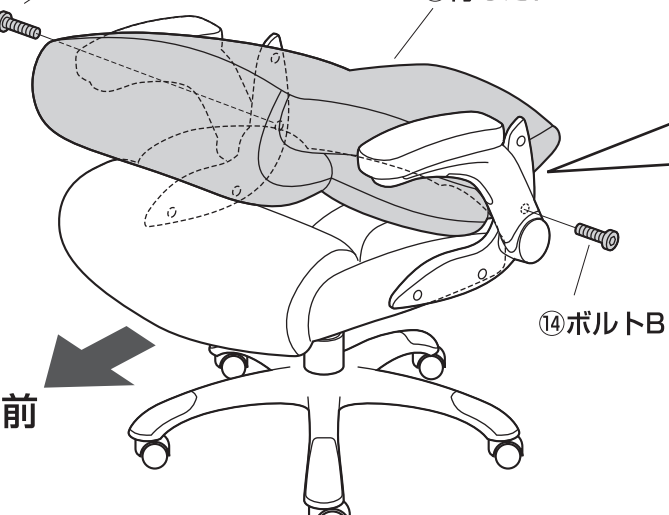
14ボルトB



6 肘あてに背もたれを取付けます。

14ボルトB

①背もたれ

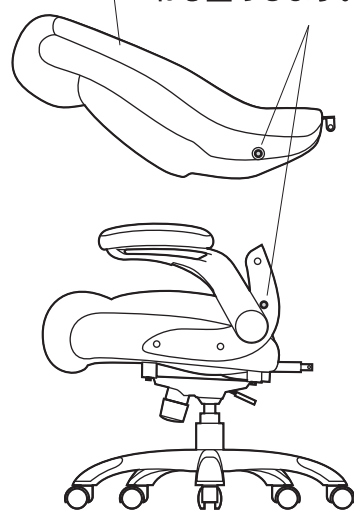


前

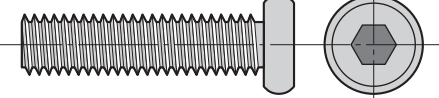
横から見た図

①背もたれ

この穴を合わせてねじ止めします。



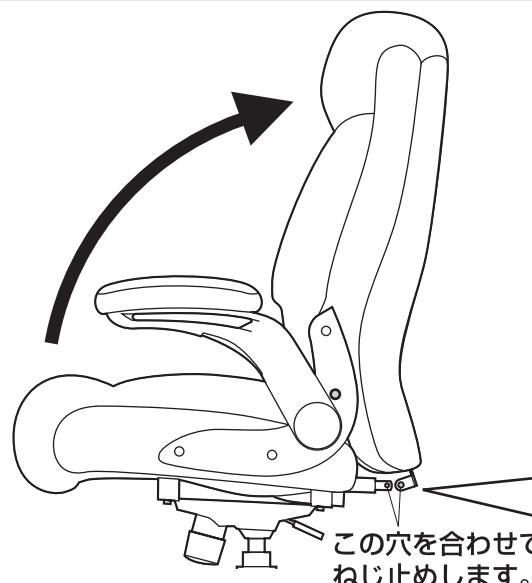
使用ボルト



14ボルトB (M8×32)

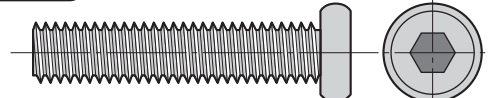
7 背もたれを起し、座面と背もたれの金具をねじ止めします。

7



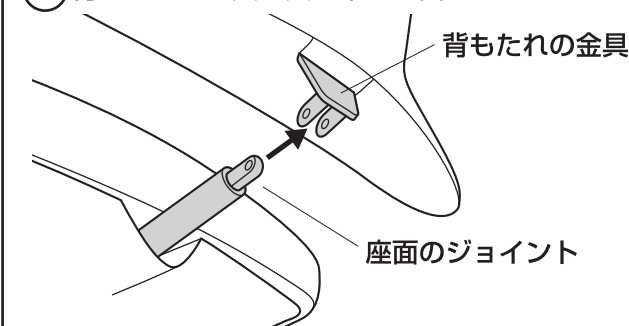
この穴を合わせてねじ止めします。

使用ボルト



15ボルトC (M8×38)

① 背もたれの金具の真ん中に座面のジョイントを合わせます。

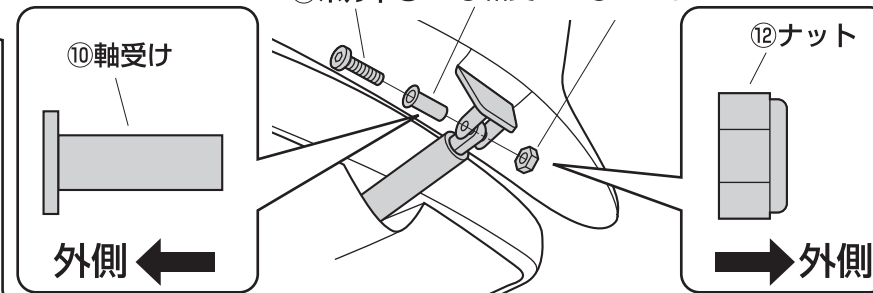


背もたれの金具

座面のジョイント

② ボルトとナットで固定します。

15ボルトC 10軸受け 12ナット



10軸受け

外側 ←

12ナット

→ 外側

8

肘あてにキャップを取付けて完成です。



チェアの品質表示

外形寸法：幅730×奥行830～950×高さ1120～1175mm（座面高さ530～585mm）

構造部材：座部・背もたれ部/合板 脚部/ナイロン 肘あて/ポリプロピレン

キャスター部/ナイロン 張り材：布 クッション材：ウレタンフォーム

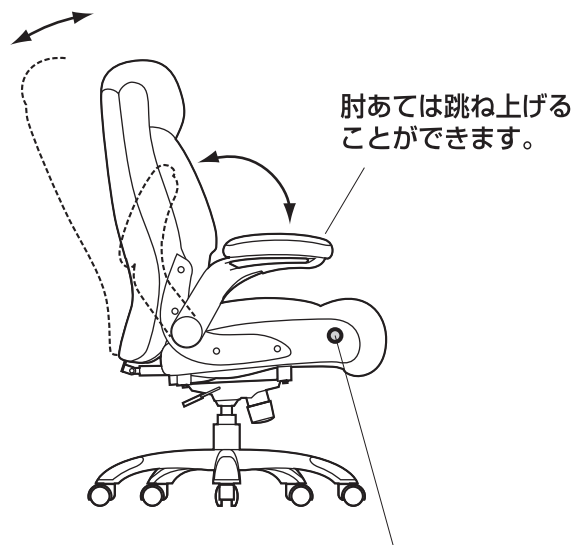
▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面、肘あての上に登らないで下さい。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。

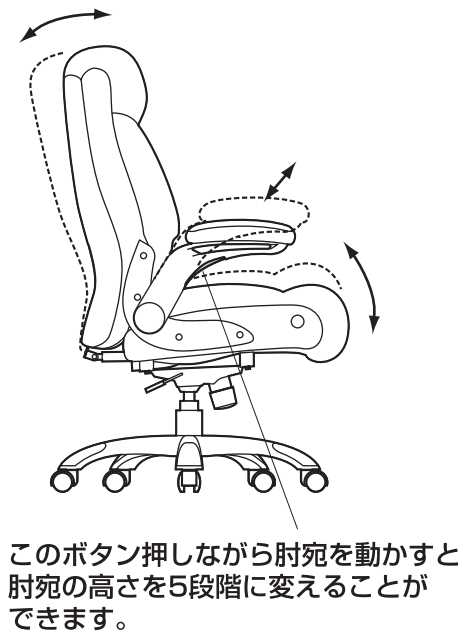
各部の調節方法

▲ 注意 ▲

レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。
正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面ブラケットを差し込み直してください。

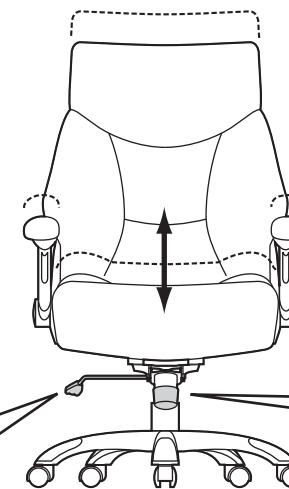


このボタン押すと背もたれの角度を
変えることができます。



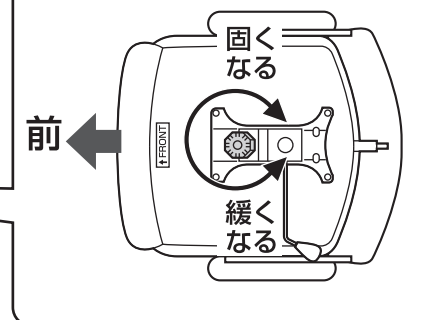
このボタン押しながら肘宛を動かすと
肘宛の高さを5段階に変えることが
できます。

- ①レバーを矢印の方向へ回転させると座面の高さ調節ができます。
- ②レバーを外側に引き出すと、ロック機構が働き、差し込むと固定されます。



下から見た図

下から見て、ツマミを時計回りに回すとロックが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。



前